



このお便りは、「キャリア教育」と「キャリア教育に関すること」について理解を深めるために作成しています。Q&A方式でお送りします。

なぜ「社会」の勉強をするの？



日々のニュースを理解するために必要な教科の1つ「社会」についてです。それでは、お願いします。



教科を通してどんな力を育てていきますか？

○公民としての基礎的な力をもつ人を育てる
「公民」とは～現代社会にあるさまざまな問題を自分の問題として受け止め、解決のためにどうしたらよいかを考えることができる人のことである。

基礎的な力とは

- ① 社会に関心をもち考えることができる力
- ② 日本の国土と歴史に対して理解できる力
- ③ 国際社会に生きる中で、平和や民主主義に対する考えをもつことができる力



身に付いた力は社会に出てからどう役立ちますか？

- ①が身に付くと⇒政治や社会などのニュースに関心をもち、自分の考えをもち主張したり、人の意見を聞いて議論したりすることに役立つ。
- ②が身に付くと⇒日本の国土に興味をもち旅行したり、その土地の特色を理解したりすることで見聞が広がる。「戦争などの悲惨な歴史を二度とくり返さない。」というように歴史から学んだことを生かすことができる。
- ③が身に付くと⇒国際社会に生きる日本人として、世界平和や民主主義の発展のために、自分として何をすべきか考えることができる。

「キャリア教育」コラム Part 2 キャリア教育を通して育てたい4つの能力（その2）

人間関係形成・
社会形成能力

自己理解・管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

この能力は、自分が「できること」「意義を感じる」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちながら主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情をコントロールして、今後の成長のために進んで学ぼうとする力のことです。

具体的な例としては、自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動等があります。

